

の原因を考ふるに、氣管支病の原因は、一に氣候の劇變と、寒氣酷烈なるに在りて、眼病は、塵埃多きと、暑氣の激甚なるに因る。瘧疾は氣候の激變に基き、疥癬は衣食住の不潔に起り、瘰癧は、飲料の不良なるに在るが如し。

就中其の瘰癧は、他に多く見ざる奇異のものにして、漢人は「ポイハツカ」と稱へ、回民は之れを「ボーハツカ」と呼ぶ。即ち咽喉部に、袋狀の大塊突出し、外觀甚だ醜く、敢て致命症に非ざるも、該病に罹るものは、呼吸苦しく、顔色青ざめたるを見れば、人壽を短縮するは勿論ならん。北路には絶えて同罹病者を見ざるも、南路の拜城、阿克蘇邊にて往々に目撃し、葉爾羌にては、住民の大半、此の疾病に罹らざるなく、小兒には稀なりとす。

蓋し葉爾羌住民は河水を飲用し、而も其の河水は、平素混濁せるに因り、一たび之を溜池に引き、其の澄める上水を飲用する爲め、半は腐敗、半は不潔の水たらずんばあらず。該病の重なる原因、實に是に在らん。然れども土人は一に遺傳性に歸し其の言ふ所に依れば、カシユミール、印度人も亦多く茲に住み、亦等しく此の溜池水を飲用す。而も彼等には、一人の該病に罹る無しと。是に由て之を見れば、或は他